

あきつ

2023年7月15日発行
第638号

創立65周年特集号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野 順子

創立65周年に寄せて

秋津療育園後援会会長 緒方 淳

秋津療育園創立65周年、誠にありがとうございます。

草野熊吉氏が、障害のある子どもを抱える家庭の困難な状況を知り「この子どもたちが、安心して生活ができる施設を作る」ことを目的にはじめられ、それが継承されて65年を迎えるまでには、様々な障害や危機があったものと推察いたします。秋津療育園と同時期に認可された島田療育園、ひわご学園は現在でも重度心身障害児者をめぐる歴史を語るべきには欠かせない施設です。

この3年は、コロナ禍に翻弄され、健康者でも罹患すれば後遺症に苛まれることもある大変な感染症で、障害(さらに基礎疾患)のある園生にとっては命の危険を心配するものでした。数回のクラスター発生、園生の逝去がありました。大変な事態とならなかつたのは、大石園長をはじめとする感染症の専門家がリーダーシップを発揮され、職員がそれに従って対応していただいたからだと考えます。令和2年4月に緊急事態宣言が発令されましたが、その当時からだんだん分かってきたことは、皆が一定のルールを守れば、新型「コロナウイルス」の感染拡大がある程度抑制され、様々な活動を再開する、行うことができるということかと思えます。職員の皆様にとっても、家庭内感染による制限のある生活を送るなど、相当な苦勞の中、対応していただいたことに感謝いたします。

リーダーシップと言えば2017年に飯野理事長をお迎えして以降、様々な変革に取り組んでいらっしゃいます。園生や職員にとって、新しいことを提供したい、よりよくしたい、と様々なアイデアを出され、それを実現されていくのは相当地なエネルギーが必要なことだと推察いたします。



近年、理事長を支える健全な体制が整備され、法人の運営体制も見直され少しずつよい方向に向かっていると感じています。ただ、冒頭で触れた3施設のうち秋津以外の施設は社会的ニーズなどに応じて変貌遂げていますが、残念ながら秋津療育園はその流れに乗り遅れていると感じます。病棟については古い基準で建てられた施設での運用を継続されてきており園生一人当たりのスペースは狭く、医療機器についても最近新しい設備を導入されたと聞きます。秋津療育園の創立時の思いを忘れることなく、一方で新しい療養介護設備・医療機器・ICT技術を取り入れた、園生・働く人のための新しい秋津療育園に生まれ変わっていくことを期待します。

創立65周年に向けて

医師 内山 晃

創立65周年おめでとうございませう。簡単ですがご挨拶というよりは私の個人的な思いを述べさせていただきます。

この挨拶文の依頼を受けた時は「なんで僕に?」という気持ちでしたが、よくよく考えてみると、常勤の先生方よりも長く(今年で17年です)秋津療育園にお世話になっている事に気づきました。私は2007年に14年間勤めていました、都立府中療育センターを辞し、秋津療育園に着任いたしました。当時は村田園長、白井副園長に加え数名の医師が在職していました。白井先生とは以前別の病院で指導いただいたご縁もあり、また一緒に働きたいとの思いもあり秋津療育園に参りました。

障害児・者の療育に必要な両輪としては、医療と日常生活の充実が大切だと思っております。府中療育センターは周りの医療施設に恵まれていた事

もあり、秋津療育園に比べるとかなり医療的な面が充実していましたが(もちろん日常生活の充実を疎かにしている訳ではありません)。府中療育センターとは体質の違いがあったので、着任当初はいろいろ戸惑うことも多く、自分なりに苦勞もしましたが、職員の皆さんの頑張りのお陰で、最近では医療的な面もかなり充実してきました。

また季節の行事やバスドライブなどは楽しい思い出です。園生さんがお亡くなりになった後に、牧師さんを招いてのお別れの会は私にとって初めての事で、貴重な経験になりました。

秋津療育園が今後も重症心身障害児・者の療育施設として、重要な役割を担っていく事を期待すると共に、私も微力ながらお手伝いさせていただければと思っております。

よろしくお願ひ申し上げます。

最後にになりましたが、治療の甲斐なくお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

最後にになりましたが、治療の甲斐なくお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。



創立 65 周年特集

秋津療育園
のあゆみ

秋津療育園のあゆみ
と福祉の流れを年表で
見ていきましょう



「世の中の出来事」
と比べながら
みてみてね



第 1 世代の建屋



創設者 草野熊吉



当時の運動会



第 2 世



病院開設許可

利用者 7 名で開園業務開始

木造 2 階建て職員宿舍建設

第 1 回運動会・クリスマス会開催

財団法人「秋津療育園」設立

秩父宮妃殿下ご来園

新病棟・看護婦宿舍落成

法にないとの理由で、国からの補助金どころか共同募金の分配すらもらうことができない時代でした

職員宿舍落成

児童福祉施設となる

創立 10 周年

幸せの像序幕

第 2 期秋津療育園建設

「心身障害児施設が法律上存在することになりました」

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970



東京タワー完成

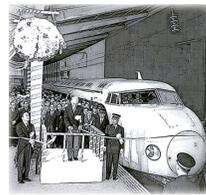
伊勢湾台風

島田療育園開設



びわこ学園開設

東京オリンピック開催



3 億円事件



アポロ月面着陸

第 3 世代の建屋



2 代目理事長 草野時治



運動会



クリスマス



第 3 期秋津療育園改修工事竣工

創立 30 年の事業として、老朽化した建屋を建替えるべくその改築計画に邁進しました

通園センター開所
施設全面改築完成現在の建屋

2 代目理事長「草野時治」就任

創業以来の理事長の交代が決定され、新しい使命に歩むことになりました

園外療育への家族の参加やバイキングなどを通して、家族の療育参加の機会をふやしました

一般病棟、長期療養型病床の為の医療改革として 4 病棟となりました

創立 40 周年

4 病棟体制となる

小平養護学校高等部訪問学級開始

重症児対策も、医療や看護、訓練を中心に改善が進み、施設の機能も入所だけでなく、通園、緊急一時入院、在宅訪問と地域に浸透して行く時代になりました

行政が必要性を判断して利用者のサービスを選定していた措置制度から、利用者が自らの意思でサービスを選択できる「契約制度」に移行しました

措置から契約への切り替え

元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	平成	平成	平成	時代	2005	200

ベルリンの壁が壊される

東西ドイツ統一

湾岸戦争勃発・ソ連崩壊



Jリーグ開幕



阪神淡路大震災

オウム真理教サリン事件

消費税 5% になる

長野オリンピック開催



アメリカ同時多発テロ



愛知万博開催



時代の建屋

炊事の様子

申し送り



昭和42年の児童福祉法の改



託児所「こひつじ園」開園

一章野熊吉勲三等瑞宝章授章

高度経済成長は、あらゆる産業に活気をもたらし、新しい労働力を急激に求めた結果、社会福祉施設に、深刻な人手不足をもたらしました

創立20周年

小平養護学校「こぶし学級」開級
養護教育の義務化により、施設内に於ける学校教育も実施されました

小平養護学校「こぶし学級」開級

皇太子殿下・妃殿下行啓

皇室の有難いお心遣いに対してお応え申し上げるには、ただただこの身を切り破き、骨を粉にして酬いるより他にないにもないことを使めて痛感しました



社会福祉法人天童会設立
創立30周年

46 昭 47 和 48 時 49 代 50 1976 51 1977 52 1978 53 1979 54 1980 55 1981 56 1982 57 1983 58 1984 59 1985 60 1986 61 1987 62 1988 63



NHKカラー放送開始



ベトナム戦争終結



第2次オイルショック

日航機墜落事故

東京デイズ・ランド開園

グリコ森永事件



青函トンネル開通

マス会

ひな祭り

3代目理事長 村田篤司

4代目理事長 飯野順子



創立50周年

託児所「こひつじ園」改築工事

通園センター移転拡充



相談支援センター開設

障害者総合支援法施行

障害児者 歯科外来開始

3代目理事長「村田篤司」就任

新会計基準への移行

4代目理事長「飯野順子」就任

創立60周年



訪問看護ステーションあきつ開設

こどもの複合施設「SLPセンター」開設

創立65周年

19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 元 2 3 4 5
6 2007 2008 2009 2010 2011 2012 平 成 時 代 2017 2018 2019 2020 令和時代 2023



リーマンショック



東日本大震災

東京スカイツリー開業



消費税10%になる

熊本地震発生



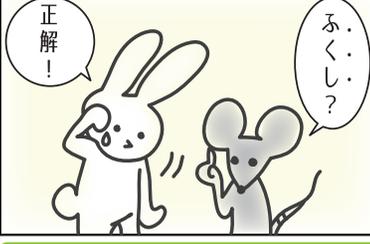
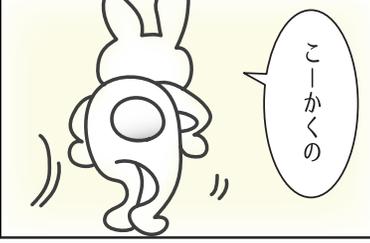
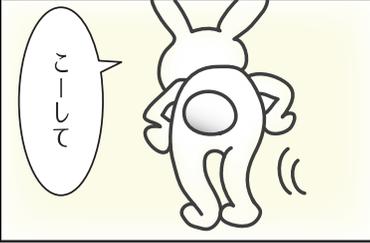
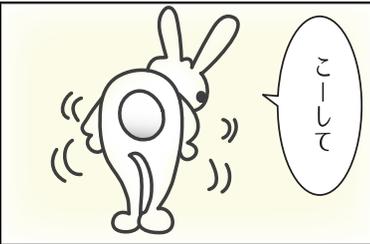
ラグビーワールドカップ日本開催

コロナウィルス流行

東京オリンピック開催



100日後に就職するウサギ 第10話
作・早川里英



NEWS 2
近隣近頃ニュース

創立65周年 記念式典

7月22日（土）創立65周年記念式典を当園大会議室で執り行いました。コロナ感染症が蔓延して以来規模を縮小して執り行っておりましたが、昨年はとうとう中止となり、2年ぶりの式典となりました。霊南坂教会、島田直様による礼拝の後、当園永年勤務者表彰と当法人の理事、及び評議員を永くお勤めいただいた、社会福祉法人 一粒会 理事長「花崎みさを」様と、社会福祉法人 志津大山記念会 理事長「並木日呂忠」様へ功労を称える「感謝状」をお贈り、花崎様よりは返礼のお言葉をいただきました。



式典会場となる大会議室



花崎様よりお言葉を頂く



所沢聖地霊園にて墓前礼拝

栄養管理室の秋レピ
お家で作る秋津の味 No.06

「トマトの冷製パスタ」



暑い季節に最高
食欲不振も吹き飛ばせ

材料2人前

パスタ	200g	こしょう	少々
トマト	1個	おろしにんにく	小さじ1
バジル	3~4枚	オリーブオイル	大さじ1・1/2
塩	小さじ1/2		

作り方

- 1 パスタを茹でたら、ザルにあげ冷水で冷やします。
- 2 トマトは1cm位のさいの目に切ります。
- 3 バジルを千切りにします。
- 4 ②と③に残りの調味料を混ぜ、水を切ったパスタと絡めて出来上がりです。



アレンジ
しましょう

さっぱりとしているので、主食として召し上がる場合には、いろいろ好きな食材を組み合わせ、豪華にしてみてください。おすすめは、「エビ」「たこ」「ささみ」「生ハム」「スモークサーモン」などです。また、「チーズ」「こしょう」などで味変も楽しんでください。

秋津アーカイブス 24

古い写真や文献の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。



創立65周年特集
道はひとすじ

昭和48年発行 秋津療育園15年の記録
「障害児とともに」より
草野熊吉のこと

草野熊吉は秋津療育園の創設者。明治37年福島県小野町の農家に生まれる。7歳に時に氷上で転び右足を骨折、その後、磐城中学校在学時に崖崩れにあい、同じ足をさらに痛めた。その後上京し中央神学校卒業後洗礼を受け、文京区白山御殿町の「太陽のない町」といわれたスラム街で救済の奉仕活動を続けた。

しかし、戦時中は、社会運動は左翼活動とみなされキリスト教は敵性宗教とにらまれて、この活動も排撃されたのである。障害児の施設を創るといって、当時からの草野の

願いは迫害をうけても、その心に燃え続けた。

昭和33年になって、この計画はようやく実った。私財60万円をもとに、多くの賛同者の力が加えられて190万円が集められ、日本に例のなかった重症児施設の礎が築かれたのである。

草野理事長には根性という言葉が良く似合う。貧しい時代に、喉から手の出るほど欲しい寄附を断固つき返したこともあった。その意地も気骨も、こどもたちのためになるか、ならぬかで強くもなれば、ときには崩れもする。

理事長はズケズケと口が悪い。しかし、皆が理事長はやさしいという。「なーにがお前らなんかに優しくするもんか」と理事長は言い返す。子息の時治常務理事も風貌に似合わず怒鳴る姿を見たことがない。父によって拓かれた道を、着実に広め固めてゆく仕事がかつてこの人の両肩にかかってゆくだろう。

*現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

ご寄付 (株)サン・アドセンター様(文京区)・目白教会日曜学校様(新宿区)・中村有佑様(杉並区)・鹿熊奈央様(所沢市)・松浦恵子様(所沢市)・村越祐介様(海老名市)・亦野運太郎様(練馬区)・久保野達也様(武蔵野市)・ハラタケイコ様・小久保薫子様(杉並区)・山本鐵子様(北区)・氏家康徳様(東村山市)・八百忠様(東村山市)・女子聖学院様(北区)・和田真様(杉並区)・里見芳子様(福島県)・三光教会様(品川区)・麻生和子様(東村山市)・東京第三友の会 鈴木加寿子様(杉並区)・(株)アートネイチャー様(渋谷区)

編集後記 本号は65周年記念特集号と題しました。式典が7月22日でしたので、発行日を10日ほどの遅れて発刊いたしました。当園の歴史、出来事などと共にアーカイブスでは、創設者草野熊吉の事を取り上げています。また、式典でも花崎様より、草野熊吉との思い出の話をさせていただき、65周年という節目の年に、私たち法人の原点を振り返りました。(池田ゆ)

